



学校だより

令和7年度冬休み号

文教大学附属小学校

<http://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



「みんなのため」が 「自分のため」になる

～2学期間頑張った子どもたちへ～



校長 島野 歩

年の瀬を迎えました。校庭の桜はすっかり葉を落とし、厳しい冬を越す準備が整ったようです。そんな中でも、季節を問わず元気に校庭を走り回る子どもたちを見ると、「素晴らしいエネルギーだなあ」と尊敬せずにはいられません。大人である我々に元気を分けてくれます。ぜひ厳しい冬をこのまま元気に・・・と願っています。

本校では、伝統的に5年生の子どもたちが始業式や終業式、学校説明会等、椅子並べの仕事を担ってくれています。多いときは500脚近くの椅子。代々、5年生の子どもたちが一生懸命に、このお役目を果たしてきてくれました。まさに、いつも子どもたちに伝えている「自分の力を誰かのために」です。

先日の学校説明会の際、一心不乱に椅子を並べてくれているひとりの5年生に「いつもありがとう。椅子並べ、大変なのにいやな顔一つせず、本当にありがとう！」そう伝えると、返ってきた言葉に驚きでした。「ぼく、椅子並べ、好きです。はじめのうちは、面倒だなあとか思っていたけど、いつの間にか、楽しくなっていました。」ハッとさせられる言葉でした。その気持ちに感謝いっぱいの思いになりました。

一方で、こうした「みんなのため」の仕事を続けていると自ずと子どもたちの顔つきが違ってきます。縦割り活動が常の本校において、高学年の果たす役割は、とても大きなものですが、責任を課せられることによって、意識も変わり、顔つきもきりっとしてきます。もしかすると、「みんなのため」は成長につながる「自分のため」になっているのかもしれない。高学年に限らず、この2学期の子どもたちの成長は素晴らしいものがあります。

これからも一人一人の成長を、教職員一丸となり見守ってまいります。

この2学期間も温かくご支援したこと、いただき心から感謝申し上げます。

どうぞよいお年をお迎えください。

過日、保護者の方から心温まる嬉しいご連絡をいただきました。ここにご紹介いたします。とても素敵です。

下校後の娘と待ち合わせをしていた時のこと。同じフロアで倒れている方が居られました。一旦娘と落ち合ってから、救助に加わりました。程なく、解決した後、一緒に救助に当たられていた方が声をかけてくださったのです。「もしかして文教の方ですか。」制服の我が子に気づいてくださったようで「はい、そうです。」とお答えすると、何とその方の御息も文教小学校に通われているとのこと。しかも、うちの娘とペアを組んだこともあるお子様とのことで二重に驚きました。さすが文教大学附属小学校の保護者の方だと誇らしく、それはまた日頃の先生方のご指導と、関係する皆がつくる温かい校風の賜物だとあらためて痛感し、たいへん嬉しく思いました。

車いすバスケットを体験！

諸岡晋之助選手から真の強さを学ぶ！

「ぼくは、車いすバスケット競技のアスリートです！」

4年生

12月16日(火)「東京パラくる」主催において、車いすバスケットボール選手をお招きしました。ご来校いただきましたのは、全国で活躍中の「諸岡晋之助選手」です。

本校にお招きするのは、これで3年目となります。今回も対象は4年生でしたが、講堂に立ち寄った6年生が「諸岡選手、覚えているよ！今年も来てくれてありがとう！」と声をかけると、「うれしい！こうして一つの学校で毎年お声をかけていただけることは他にはないので、母校みたいです。」と感激してくださっていました。毎年、たくさんのことを学ばせていただいています。



諸岡晋之助選手からのメッセージ その1

- 障がいを「かわいそう」と思わないでください。一人一人顔が違うように、障がいもひとつの個性です。君たちとなんら変わりはありません。そのことを理解してほしいです。

諸岡晋之助選手からのメッセージ その2

- ぼくは、車いすバスケットのアスリートです。「車いすバスケット」という競技に向き合い、闘うひとりのアスリートであることに誇りをもっています。もっと車いすバスケットを知ってほしいです。



スコットランドは悲しみ・つらさを笑いに変える国

～スコットランドのダンスを通して、スコットランドの文化に触れる！学ぶ！～

「スコティッシュダンスで心をつなぐ」

3年生

国際交流として、スコットランドから クレメント篤子先生が、本校にご来校されました。クレメント篤子先生は、日本に居らっしゃるときに「スコティッシュダンス」と出会いすっかりスコットランドのとりこに！今では、日本とスコットランドの文化の架け橋となり、広くご活躍されています。

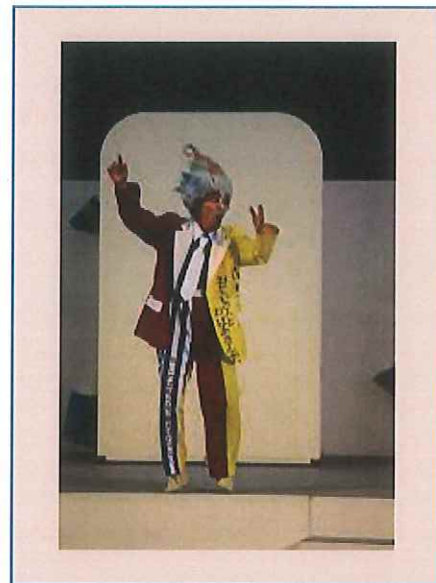
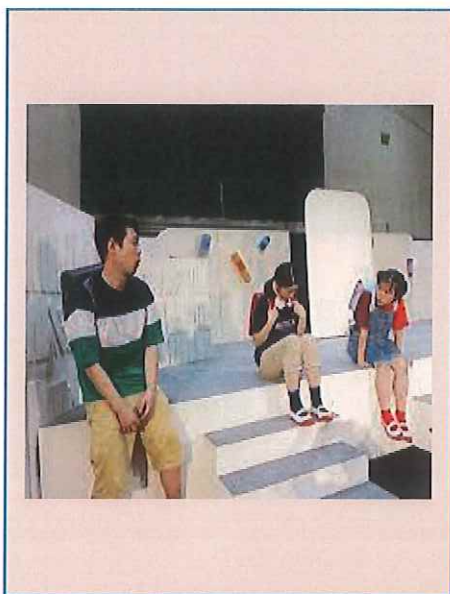
3年生の子どもたちにとっては、初めて触れ合うスコットランドの文化！自然豊かな国である一方、厳しい寒さとの戦いでもある冬！遠い国でありながら、いつの間にか篤子先生の話に引き込まれ、「いつか行ってみたい国」に変わった子どもたちもいるのではないのでしょうか。1時間で覚えるにはそう簡単なダンスではないですが、一緒にダンスをすることがこんなにも心繋がることであることは実感できた素晴らしいひとときでした！**クレメント篤子先生、ありがとうございます！**



スコティッシュダンスで心も体もポッカポカ！



伝統芸能鑑賞会 「ちえんじ 図書館のすきまから」



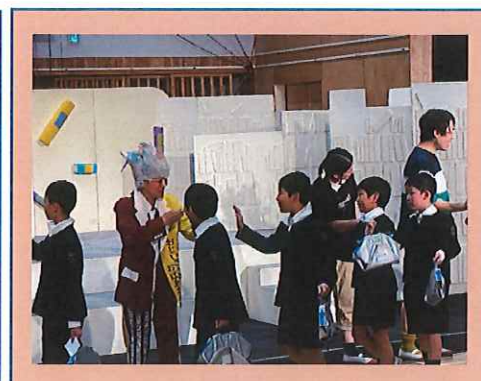
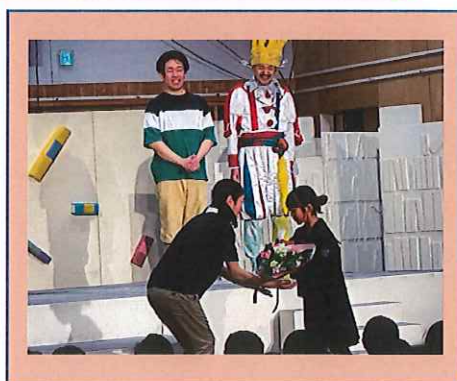
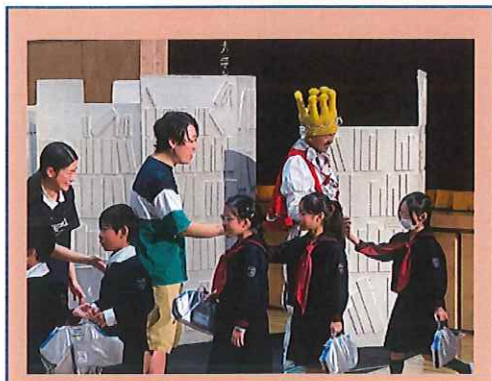
劇団 風の子

「ちえんじ 図書館のすきまから」
～彩花の背中を押した図書館の魔法～



テーマ「開け！ こころの扉」

自分の嫌いなところを心の真ん中に抱え込んでいる主人公の彩花。彼女の身に突拍子もないことが次々に起こります。さあ、自分ならどうする？……彩花とともに、一歩踏み出し心の扉を開きましょう！



父母の会講演会

児童文学作家 角野 栄子先生をお迎えして

教えて角野先生！

魔女先生に聞く！人生を楽しむコツ！



角野栄子 プロフィール

出身：1935年生まれ。東京都出身。大学卒業後、出版社勤務を経て24歳からブラジルに滞在。
経歴：ブラジル滞在時の体験をもとに描いた「ルイジニョ少年ブラジルをたずねて」で1970年作家デビュー。代表作「魔女の宅急便」は舞台化、アニメーション・実写映画化。
産経児童出版文化省、野間児童文芸賞、小学館文学賞等受賞多数。2000年には紫綬褒章、2014年には旭日小綬章、2018年には国際アンデルセン賞作家賞を受賞。
主な作品：「アッチ、コッチ、ソッチのちいさなおばけ」シリーズ。「トンネルの森 1945」「ズボン船長さんの話」「リンゴちゃん」シリーズ など。

12月13日(土)は、父母の会講演会に児童文学作家の角野栄子先生をお迎えしました。

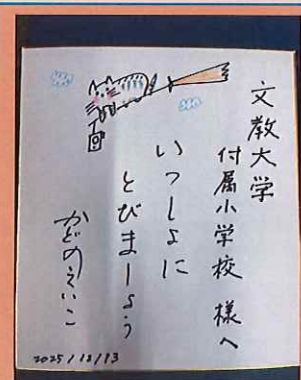
角野栄子先生からでてくる言葉は、私たちの心に魔法のようにしみ込んできました。

「同じことを繰り返しても飽きないことが自分の好きなこと。その好きなことこそが、自分の魔法！」

すてきな魔法をたくさんかけてくださった至福のステキな時間でした。

角野先生、ありがとうございました。

*角野先生は、本校のご講演を、最後の講演会にされるとのことです。今度は文学館でお会いしたいです。



3学期 教育懇談会 ご案内

1月15日(木)令和7年度 3学期 教育懇談会について
ご案内させていただきます。

このたびの教育懇談会も、対面形式・オンライン形式の
ハイブリッドにて開催いたします。ご多用の中とは存じま
すが、令和7年度最後の教育懇談会となりますので、
御参加の程よろしくお願ひ申し上げます。



*教育懇談会の内容

第一部 14時～

- ① 学校長挨拶 (島野)
 - ・3学期 学校経営方針
 - ・3学期 学校行事の実施について
 - ・令和7年度 行事实施の方法と見通しについて
- ② 教頭挨拶 (田中)
- ③ 生活指導主任より (山口)
- ④ 同窓会委員長より (大塚)

第二部 担任より・・・第一部が終了し次第始めます。

- ① 3学期学級経営方針
- ② 学習・生活について
- ③ 3学期 行事予定
- ④ その他

(なおご来校の場合は、お子様同伴で図書コーナー待機の形は安全上の観点

教育懇談会実施における

留意点

- ① 教育懇談会全体会は、講堂にての対面ならびにオンラインのハイブリッド開催です。
- ② 学級懇談会は各学級でご参加いただきます。
- ③ 教室内は、インフルエンザ等感染症予防に留意し、換気を徹底し、加湿もいたします。
- ④ ご来校の際には、忘れずに入校証をご提示いただきますようお願いいたします。

教育懇談会オンライン参加希望について

■オンライン希望申し込み方法:

お子様の連絡箋にてオンラインご希望の旨ご連絡ください。担任から、ZoomのIDとパスコードをお伝えいたします。

オンラインでのご希望締切 1月14日(水)

■留意点:担任からお伝えいたしましたIDとパスコードは外部に漏れることがないようご留意ください。教育懇談会開始時間の5分前には、オンラインにて入室ください。

オンライン参加の方のご質問はお受けできませんこと、機器のトラブル等には対応できかねますことは、あらかじめご承知おきください。

◆授業参観:保護者の皆様からのアンケート (10月9・10日)

お声をお寄せいただき心から感謝申し上げます◆

～保護者の皆様の声・声・声(一部抜粋)～たくさんのお声をありがとうございます。

*本来であれば、いただいたお声を全て掲載させていただきたいところではございますが誌面の関係上、大変申し訳ございません。しかしながら、いただいたお声は、全教職員と全て共有させていただき、今後の教育活動に活かしていくべく検討してまいります。お声を寄せてくださいましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

- いつも楽しく、あっという間に授業が終わってしまうと言って帰宅しております。クラス全体が集中できる環境を整えてくださり感謝しています。
- 私の時代の授業とは異なり、思考力や観察力を高める授業だと感じました。九九は単なる暗記だと思っていましたが、授業参観を通して、そうではないことを親である私自身が学びました。個人面談で「先取りしながらも掘り下げいかねばならない」と伺いましたが、まさに子どもたちは日々実践しているのですね。私も授業を受けてみたかったです。



- 授業中、隣の席の子がわからないで困っていると、さりげなく教えてあげる姿を何度も見ました。優しい!!!
- 子どもの集中力がとぎれないように、先生の話聞く内容と自分の手を動かす内容(板書や自分の意見を書くなど)が、バランスよく配分されていると思いました。子どもの発表内容を否定せずに正解の方向に導いたり、教師側の意見を押し付けずに、子どもが自ら言葉にできるのを待ったりと主体性がでるような掛け合いがとても良いと感じました。
- 廊下側の1番前の席では、黒板の文字や紙などが見えないことが多く、もう少し後ろに下げただけければ、ありがたいです。⇒**ご指摘ありがとうございます。黒板と違って、ホワイトボードは光を反射しやすいため、授業者はとくに前列の子どもたちや廊下側の席の子どもたちに配慮しながら授業をしているものの、まだ配慮が足りない点がありました。大変申し訳ございませんでした。以後、教員たちで共有しさらに気を配ってまいります。**
- 算数の3クラス分け授業を初めて参観し、数の面白さをじっくり1コマかけて学ぶ贅沢な時間にうらやましく思いました。ぜひ子どもには数や形的美しさや不思議さに、これからも触れて考えてほしいと思います。
- 参観した「BEE SCHOOL」の授業では、ゲラン様と銀座ミツバチ様をお招きし、ミツバチの生態や人とのつながりを知る貴重な機会をいただきました。私自身も初めて知る、そして学ぶこともたくさんあり、楽しくワクワクする授業でした。企業と学校が連携して、素敵な体験を与えてくださる取り組みに、文教大学附属小学校の良さを感じました。ハチミツ、美味しかったです。ありがとうございます。
- 子どもたちにしっかり考える時間を与え、丁寧に説明しながら授業を進めていると感じました。子どもたちもノートをとりながら取り組んでいる様子に関心しました。丁寧な故に、やや進行がゆっくりと感じました。どんどん進めたい子もいると思いますので、何か工夫ができる可能性があるのではと感じました。⇒**貴重なご指摘です。ありがとうございます。一人一人の子にとっても「脳に汗かく授業」を目指し、指導法を工夫してまいります。**

○休み時間の雰囲気がとてもよく、クラスじゅうが笑顔でした。一方、授業が始まると子どもたちは一瞬で真剣な顔に切り替わったのが印象的でした。担任の先生がクラスをまとめてくださり、一人一人を大切にみてくださっているからこそだと感じ、うれしくなりました。

●英語の授業を初めて参観できて良かったです。子どもたちが楽しみ盛り上がっていて微笑ましかったです。ただ、班での活動も練習に差が出ているなど、英語の習得となるとあらためて難しさを感じました。せっかくネイティブの先生がいらっしゃるのだから、カタカナ英語にならないようにたくさん聞いて話して、娘が少しでも自ら会話しようという気持ちになってもらいたいと感じました。⇒貴重なご意見ありがとうございます。英語の授業においては複数お声をいただきました。ネイティブの英語をもっとリスニングする機会を増やすこと、子どもたち一人一人が楽しみながら授業の中で英語を使っていけること等教員同士でアイデアを出し合い、授業創りに努めてまいります。

○ユニセフの授業は、親子共々、学ぶことが多かったです。帰宅後、家族全員で学んだことを共有しました。今の状態が当たり前ではないことを理解し、視点を世界に向けるひとつのきっかけになってほしいと思いました。このような専門家の方から直接お話をうかがえる授業があるのが、「文教らしさ」であり、このような機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。

○「STEAM—B」の授業では、グループLINEを通じたいじめ問題やゲーム依存、SNSの落とし穴について扱われており、とっっても考えさせられる内容でした。課外授業でカメラを持たせたときに、お友達の顔をあえて写さないようにしている様子が見られました。子どもと同じく大人もそれくらい意識をもつべきだと感じます。

○学校に伺うたびに、とても楽しみにさせていただいているのが掲示物です。子どもたちの個性がよく出ていて、思わず笑顔になります。また、家庭科の授業では、子どもたちが作ってくれたものを一緒にいただけたのがとても嬉しく、美味しいねとみんなで幸せな時間を共有できました。災害時に役立つ調理方法で、親としても勉強になりました。ありがとうございます。

～学校公開アンケート結果～ 回答数 298/326 回収率 91.0%

- | | | |
|-------------------------------|-------|------|
| 1 お子様は、意欲的に学習に取り組んでいる。 | 93.8p | 1.3↑ |
| 2 お子様は、学級でまとまって楽しく活動している | 95.1P | 0.2↑ |
| 3 お子様は、あいさつなどの礼儀を身に付け落ち着いている。 | 93.1P | 0.7↑ |
| 4 教師は、授業展開を工夫し、学力向上の努力をしている。 | 96.5P | 1.4↑ |
| 5 作品や掲示物が工夫され、学習環境が整っている。 | 96.3P | 0.7↑ |
| 6 教室は整理・整頓され、廊下などの清掃が行き届いている。 | 96.2P | 0.4↑ |

◆集計方法:4:そう思う(100P) 3:ややそう思う(75P)

2:あまりそう思わない(25P) 1:思わない(0P)

$P \cdot (4 \text{の総数} \times 100 + 3 \text{の総数} \times 75 + 2 \text{の総数} \times 25 + 1 \text{の総数} \times 0) \div \text{有効回答数}$

12月・1月はじめの行事予定



日	月	火	水	木	金	土
14	15	16	17	18	19 2学期 終業式	20 6年 冬季補習5日間 もちつき(6年) 冬休み(~1月7日まで)
21	22 ←	23	24	25	26	27 →
28	29	30	31	1 元日	2	3
4	5	6	7	8 B時程(~15日) 始業式	9 書き初め大会(書初め展15日~) 6年生受験対策 面接練習	10 休業日

12月の生活目標

重点目標 <文教っ子ハケ条 第七条 困っている友達に進んで声をかけることができること>

- ◎ 言葉づかいに気をつけよう
- ◎ 進んで仕事をしよう
 - ・ 相手を思いやった言葉づかいをする。・丁寧な言葉づかいをする。
 - ・ 係や当番、委員会の仕事を進んでやる。

1月の生活目標

重点目標 <文教っ子 第一条 大きな声であいさつ・返事ができること>

- ◎ 目標を立てて生活をしよう
 - ◎ 礼儀正しいあいさつをしよう
 - ・ 目標を立てて生活をする。
 - ・ 相手が気持ちいいと思えるあいさつをする。
- よいお年をお迎えください

【文責 教頭 田中 宏一】

明日より、19日間の冬休みとなります。夏休みと違い、冬休みにはさまざまな伝統行事がありますが、インフルエンザも流行っています。体調には十分気を付けて、ご家族で安全に健康にどうぞお過ごしください。

文教っ子の生活目標においても、12月、1月は各ご家庭でも大切にしていきたい目標となっております。

年末年始、時間をとってお子様と一緒に、一年間の目標を立ててみてください。

保護者の皆様、一年間大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

車での送迎につきまして

車での送迎の駐車場所につきまして、日頃よりご協力いただきありがとうございます。駐車とならないよう、降車後は速やかな移動をお願いします。また、停車時にも十分な安全確認を引き続きお願いいたします。

